

グローバル化への対応に向けた課題

- オール北海道でインバウンドの加速化を図るため、本道の国際交流を牽引する若き「グローバル・リーダー」の育成が重要
- 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を控え、外国語によるコミュニケーションができる人材の育成・拡大が急務

海外留学等の現状

- 道立高校の海外留学生は28年度で28名(H14 62名 ▲34)
- スーパー・イングリッシュ・キャンプに参加する高校生は29名(H29)
- 留学者が少ない主要な要因は、家庭の経済的負担
- 一方で、道内の大学には多くの外国人留学生が存在

大学と連携・協力し、道内における擬似留学の機会を提供

○ 道立高校と道内大学とのマッチングを行い、1週間、高校生と留学生による相互の擬似留学を実施

【高校生の活動】

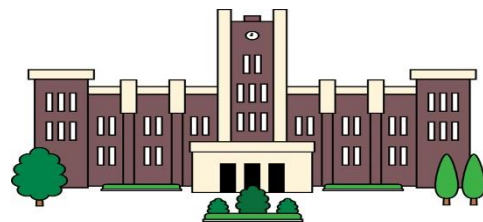
- ◆ 大学教授の講義受講
(例: 海外交流と北海道発展の可能性)
(例: 高校生のキャリア形成と海外交流)
- ◆ 研究活動見学、ゼミ参加
- ◆ 留学生と交流、サークル参加など

高校生20名派遣



Hokkaido
Study
Abroad
Program

High School



University

留学生20名派遣

【留学生の活動】

- ◆ 外国語の授業でのピアサポート
- ◆ 高校生との交流、部活動参加
- ◆ 母国紹介など

支援・協力

各国総領事館

企画・実施

推進委員会

渡航せずとも気軽に参加できる留学機会の提供 ⇒ 将来のグローバル人材の更なる育成・拡大